



# 三浦市議会だより

第 130 号  
平成29年(2017年)11月1日  
編集：議会だより編集委員会  
発行：三浦市議会  
〒238-0298  
神奈川県三浦市城山町1番1号  
☎ 046(882)1111内線462・463

## 第3回定例会

# 平成二十八年度決算を認定

### 北朝鮮の核実験に抗議する決議を可決



三浦を守る地域の力～三浦市消防団  
10月に行われた消防操法競技大会の様子

### 定例会の経過と概要

月日	曜日	会議名	内容
9月11日	月	本会議	会期の決定、決議案、一般質問
12日	火	本会議	一般質問
13日	水	本会議	一般質問、議案の審議(説明・委員会付託)
14日	木	総務経済常任委員会	議案・陳情の審査
15日	金	都市厚生常任委員会	議案・陳情の審査
20日	水	決算審査特別委員会	議案の審査
21日	木		
22日	金		
25日	月		
26日	火		
29日	金	本会議	議案の審議(総務経済・都市厚生・決算審査の各委員長報告・討論・採決)、追加議案の審議、人事案件(教育委員会委員、公平委員会委員、固定資産評価員)、閉会中継続審査申し出、議員派遣について、報告

平成二十九年第三回定例会は、九月十一日から二十九日までの十九日間を会期として開かれました。今定例会では、平成二十八年度決算を初めとする、十七議案の審議を行いました。

定例会初日には、「北朝鮮の核実験に抗議する決議」を全会一致で可決し、関係機関に送付しました。(記事七面)

#### 《議会だより第130号の内容》

定例会の経過と概要	1面
決算審査特別委員会	1～2面
常任委員会	2面
一般質問	3～6面
陳情の審査	7面
決議	7面
人事	7面
本会議における討論	7面
議会報告会	8面
次回定例会の予定	8面
議案等の審議結果	8面
編集委員コラム	8面

## 決算審査特別委員会

### 議案の審査概要

平成二十八年度の一般会計、特別会計(国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、市場、公共下水道、第三セクター等改革推進債償還)及び企業会計(病院、水道)の決算議案は、八人の委員で構成する決算審査特別委員会に付託され、五日間にわたり審査されました。

### 決算審査特別委員会

委員長 神田真弓  
副委員長 小林直樹  
委員 石橋むつみ  
寺田一樹  
長島満理子  
出口正雄  
藤田昇  
草間道治

### 総括質疑 市政全般にわたり 市長に質疑

#### 二十八年度の成果

**質問** 予算編成時に「厳しい財政状況だが堅実な予算が組めた。実りある年にしたい」と述べていたことに対する感想を伺う。

#### 答弁

ごみ処理や消防の広域化での施設建設など、事業が着実に進んだと実感している。

有利な財源を活用する視点を持ち、厳しい財政環境の中でもやりくりができた。

#### 質問

減少了中、特にふるさと納税の減収が大きかったことについて、市長の考えは。

**答弁** 地元産品を中心に記念品を贈呈し、ふるさと納税の本来の趣旨を逸脱することなく取り組んだ。競争の激化により減少したが、ふるさと納税に頼らない財政の仕組みをつくっている中で、歳入欠陥とは考えていない。

**地域への効果** うらりマルシェ開設による、地域活性化や農業者への効果について、市長の見解は。

**答弁** 周辺の活性化を目的に海業公社と連携して取り組み、非常に効果があった。農業者にとっては、直販できる場所ができたので、野菜のつくり方や販売方法などの幅が広がったと思う。(その他の質疑項目)

・市債残高について  
・観光振興の取り組みについて



# 一般会計

## 歳入

- ・市・県民税の特別徴収の実施率について
- ・旧三崎中学校施設の貸し付けによる収入について
- ・市税収入が減少した主な要因について

## 歳出

- 総務費
  - ・防犯灯の維持管理について
  - ・情報セキュリティ対策の改善について
- 意見
  - ・国家戦略特区活用チームは、二十八年度には特段の成果がなかったということだが、全国でいち早く活用チームを立ち上げた三浦市として、特区の指定を受けてどのような事業ができるか、庁内で連携して検討を進めるべきである。



- 民生費
  - ・民生委員・児童委員の欠員状況と充足するための課題について
  - ・生活保護にかかわる状況について
  - ・放課後児童クラブの環境改善について

- 衛生費
  - ・小児救急医療での横須賀市との連携について
  - ・妊婦健康診査を行うための事業費が増加した理由について
  - ・ごみ処理広域化に向けた最終処分場建設工事の進捗状況について

- 農林水産業費
  - ・適正な農地造成のための指導について
  - ・種苗放流など、各漁協の取り組みについて
  - ・三崎漁港におけるグロバルブランドディング戦略策定・推進事業の実施状況について
- 商工費
  - ・観光案内板・解説板の整備箇所について
  - ・みうら夜市での新たな取り組みについて
  - ・教育旅行誘致の成果について
- 土木費
  - ・三浦縦貫道路整備に向けた事業の進捗について
  - ・市道の維持補修の状況について
  - ・みうら景観資産の認定と今後の活用について
- 消防費
  - ・消防の広域化に伴う資機材等の整備について
  - ・露店などへの査察の実施状況について
  - ・市の地域防災計画改定に向けた検証作業について
- 教育費
  - ・学校施設の修繕状況について

- ・海洋教育の取り組みと成果について
- 意見
  - ・小中学生への就学援助制度については、支給額を国基準に戻し、支給基準を拡大してほしい。また、中学校での新入学用品費を前年度に支給できるように、三十年度に向けた取り組みを求めらる。
- 災害復旧費
  - ・二十八年中に発生した台風九号による被害状況について
  - 予備費
    - ・南下浦市民センターにおける工事について

# 特別会計

## 国民健康保険事業

- ・療養給付費が前年より減少した要因について
- ・国民健康保険データヘルス計画に基づく取り組み状況について
- 意見
  - ・国保税の改定で市民の負担がふえたことで、医療機関への受診が抑制される例があると聞いている。引き続き、きめ細かな対応をしてほしい。

## 後期高齢者医療事業

- ・保険料の軽減特例に関する経過と、今後の見通しについて
- 意見
  - ・後期高齢者医療制度は軽減特例なしには成り立たない現状であり、この見直しをすることは問題である。また、七十五歳以上の方を別の医療保険に切り離す制度自体

- ・問題があるため、本会計に反対する。
- 介護保険事業
  - ・「医療と介護 資源マップ」の作成と情報の更新について
  - ・介護認定を行う人員体制について
  - ・介護予防活動の実施状況について
- 市場事業
  - ・市場関連施設の老朽化と修繕について
  - ・市場使用料の収入が減少した要因について
  - ・施設見学の来場者数について
- 公共下水道事業
  - ・終末処理場の維持管理にかかる事業費が減少した理由について
  - ・三崎地区、初声地区の排水処理計画の検討について
  - ・下水道PPP・PFI推進事業における検討状況について
- 第三セクター等改革推進債償還事業
  - ・土地の貸し付け収入が減少した理由について
- 意見
  - ・第三セクター等改革推進債は無謀な二町谷埋立事業に起因するものであり、本会計に反対する。

# 企業会計

## 病院事業

- ・二十八年度の経営状況について
- ・訪問診療、訪問看護の実施状況について

- ・医療スタッフの確保に
- 水道事業
  - ・水源施設増強費の残額と今後の見直しについて
  - ・有収水量率が上昇した要因について
  - ・給水管の布設替えに対する補助制度の検討状況について

- ・援助制度において、学用品費等の支給額が国基準の二分の一であることは不十分であり、全ての子供たちが安心して教育を受けられるよう、改善を求めることが述べられました。
- 長島満理子委員長より、賛成の理由として、身の丈に合った事業や、歳入増加策、歳出削減策に取り組み、教育環境の充実や消防力の強化、安心・安全な水産物の提供等の積極的な推進をしたこと等が述べられました。
- 小林直樹副委員長より、反対の理由として、後期高齢者医療制度は、包括払いなど、年齢で医療を差別するものであり、制度そのものに反対であることが述べられました。
- 小林直樹副委員長より、反対の理由として、後期高齢者医療制度は、包括払いなど、年齢で医療を差別するものであり、制度そのものに反対であることが述べられました。
- 小林直樹副委員長より、反対の理由として、後期高齢者医療制度は、包括払いなど、年齢で医療を差別するものであり、制度そのものに反対であることが述べられました。

# 常任委員会

## 議案の審査概要

## 総務経済

- 平成二十九年度三浦市一般会計補正予算(第二号)
- 意見
  - ・本案は、歳入歳出それぞれ三千四百二十万一千円を追加するとともに、継続費、債務負担行為及び地方債の補正を行うものです。

## 都市厚生

- 三浦市空き家等対策協議会条例
- 意見
  - ・本案は、本市における空き家等に係る施策に関する事務について、必要な協議を行うための会費を設置するものです。

- 平成二十九年度三浦市公共下水道事業特別会計補正予算(第一号)
- 意見
  - ・本案は、歳入歳出それぞれ二千五百五十九万六千円を追加するものです。

- ・(仮称)市民交流拠点整備事業で委託料が計
- ・状況について

- ・反対の理由として、コンセッション方式の導入が検討されているが、民間事業者へ運営権を設定することで、市が責任を持つて事業を行えるのか疑問であることが述べられました。
- 第三セクター等改革推進債償還事業
  - 小林直樹副委員長より、反対の理由として、本会計が、無謀な二町谷埋立事業が原因で解散した土地開発公社の借金を肩代わりするものであること等が述べられました。

## 委員会

- 意見
  - ・コンセッション方式の導入は、長期にわたる民間事業者による業務を任せることによるリスクが考えられるため、本案に反対する。

## 委員会の活動から

総務経済常任委員会散会后の委員協議会では、三崎水産物地方卸売市場の高度衛生管理化について報告を求め、建設中の低温卸売場を視察しました。



※コンセッション方式……料金収入がある公共施設の事業運営において、市が所有権を有したまま民間事業者が施設を利用して事業を行う手法



# 一般質問

## 質問と答弁の要旨



○地域で支える体制づくり	(無所属 下田 剛).....	3面
○三浦の食と観光	(みうら市政会 長島満理子).....	3面
○市民に身近な図書館に	(日本共産党 石橋むつみ).....	4面
○防災・減災対策	(公明党 藤田 昇).....	4面
○速やかな避難のために	(自由民主党 出口正雄).....	4面
○公共施設の管理	(無所属 寺田一樹).....	5面
○海水浴場の活用	(みうら市政会 出口真琴).....	5面
○駅弁をつくって観光振興を	(日本共産党 布川照美).....	5面
○市民の安全対策の推進	(みうら市政会 神田真弓).....	6面
○公共施設の管理計画	(日本共産党 小林直樹).....	6面
○ウッドデッキの活用	(みうら市政会 草間道治).....	6面

### 地域で支える体制づくり

宿泊型の避難訓練、児童・生徒のケア

無所属 下田 剛

**質問** 認知症は誰もが起こり得る、遺伝性のない病気である。認知症の方を支えていくためには、地域全体で見守っていくことや、ネットワークをつくっていくことが必要だと思

う。現状においては、認知症に関する三浦市の施策と、今後のような施策を考えているかをお聞きしたい。

**保健福祉部長** 現状で

は、徘徊高齢者等SOSネットワーク事業や、認知症家族のつどいの開催、地域での認知症サポーター養成講座等を実施している。今後は、認知症ケアパス(本人や家族等が認知症になった場合の相談機関や、受けられる支援内容等をわかりやすく示したもの)を作成して、配布することを予定している。

### 実施に向けた検討

**質問** 市内各地区で防災訓練が行われているが、他の自治体では、お泊まり避難訓練をしていると聞く。

市が主体で津波・地震お泊まり避難訓練を行うことについて、検討に向けた考え方を伺いたい。

**総務部長** 宿泊型の避難訓練の実現は、重要な課題であると認識している。

夜間に行う訓練であるため、参加者の安全面や、訓練を実施する地域、施設管理者の理解と協力が欠かせないと思っ

ている。既に宿泊型の訓練を実施した自治体等からこれらの情報を得て精査し、実施に向けた検討をしていきたい。

### 学校での対応は

**質問** 市内の小中学校で暴力行為等の問題行動が起こった場合は、どのように把握をしているのか。

また、児童・生徒の心のケアをどのように行っているのかお聞きしたい。

**教育部長** 事案が起きた場合は、すぐに教育委員会に報告するよう、各校長に対して指示をしている。

児童・生徒に対しては、事案によって全校

や学年集会で説明を行い、動揺せず日常の活動に取り組むよう話をしている。

その上で、アンケートや教育相談等を実施し、心のケアを図っている。



防災訓練の様子

### 三浦の食と観光

Jアラート、防災講座

みうら市政会 長島 満理子

ンタサイクルが事業化されており、回遊性と食をツールとした情報発信や消費誘導が考えられるが、どうか。

**市長** 三浦の食は市を代表する観光資源であり、イベントのほか、あらゆる機会を捉えて三浦の食文化のPRに取り組んでいる。

レンタサイクルの動線とリンクした情報提供ができれば、さらなる回遊性の向上と観光消費の増加が考えられる。観光協会や事業者が新たなツール作成を目指す際には、必要な支援を行いたい。

**質問** 観光振興を図るために、三浦の食は絶好の素材であると考えられるが、食をツールとした観光消費について、どのような取り組みを進めているか。

本年から、みうらレ

市民の生命を守る

**総務部長** Jアラートは、国が定期的に試験を実施している。三浦市では以前、受信機のあるが、その後



Jアラートの受信機



# 市民に身近な図書館に

就学援助、学習支援  
日本共産党 石橋 むつみ

**質問** 市内三カ所にある図書館では、昨年から「みうらっ子ライブラリー」というイベントを開催するなど、独自に地域に密着して頑張っている。

**教育部長** 図書館事業に関するPR方法としては、ホームページ以外にも広報紙の活用や図書館だよりの配布、窓口カウンターでの情報提供等を行っている。

おはなし会やイベントの開催はホームページに載っているが、それ以外にも、夏休みの課題図書や行政資料コーナー、大活字本の紹介など、利用者に身近に感じてもらうために、

さまざまなことが発信できるのではないかと。前年に支給できるように動いている。必要な時期に必要な援助ができるということが大事であり、ぜひ三浦市でも実施できるよう要望したい。

**教育部長** 既に実施している市での課題や支給時期等について情報を収集しているため、本市でも早期実現に向けた検討を進めていきたい。

多くの市民に利用してもらうため、図書の貸し出しだけではなく図書館の魅力を伝えられるよう取り組みたい。

**質問** 中学生への就学援助のうち、新入学学用品費は、入学後に申請をして八月に受け取るため、制服やかばん等をそろえる時期に間に合わない。

**質問** 生活困窮者自立支援法のメニューにある子供の学習支援は、三浦市では社会福祉協議会の自主事業として行われている。

他市では市もかわって実施しているところがあるようだが、今後、本市で実施していく予定はあるか。

**保健福祉部長** 社会福祉協議会で行っている学習支援を発展させて生活困窮者自立支援法の任意事業として実施していくことは、現段階では考えていない。



次の「みうらっ子ライブラリー」は11/3です

を防止するための学習支援の必要性は認識しているため、他市の取り組みを参考にしながら

# 速やかな避難のために

イベント等の検討、高齢者の事故  
自由民主党 出口 正雄

**質問** 近年の異常気象で大雨が増加し、各地で被害が発生している。

**市長** イベントの企画検討については、多くの意見や知識を取り入れることが重要であり、白秋まつりやみうら夜市などは、市民の皆さんを中心に取り組んできている。

企業が連携して、集客イベントや三浦市への移住政策などを協議することが重要なアイテムになると考える。協議会などを設置して検討することを提案するが、いかがか。

家族を支える制度を  
**質問** 大和市では、認知症高齢者の事故で家族が高額な損害賠償を求められた場合に、市が肩がわりをする制度を新設するという報道があった。

**市長** 直ちに同じ保険制度の取り組みを進める予定は持っていないが、認知症の方を介護しているご家族にとって、どのような制度や支援が必要なのか、他市町村や国の動向を注視しながら、十分な検討を行いたい。

# 防災・減災対策

学童保育、防犯灯の整備

公明党 藤田 昇

**質問** 近年、地球温暖化などの影響から全国各地でゲリラ豪雨が多発し、甚大な被害が出ている。

この対策として重要なことは、適正な情報をスムーズに伝達して

早目早目の避難を行い、最優先に自分の命を守る行動をとることである。

三浦市での現在の対応をお聞きしたい。

**総務部長** 三浦市では、横浜地方気象台と二十四時間のホットラインがつながっている。

急激な気象の変化について気象予報官から直接連絡が来るなど、必要な助言を得られる体制をとっており、避難勧告等の避難情報を出す判断をする際の参考にしている。

**保健福祉部長** 指導員数の状況は各クラブから報告や相談を受けており、市としては、ホームページや広報紙に指導員の募集記事を掲載している。

**質問** 市内の防犯灯は、平成二十七年度から四千六百本余りがLED型に更新されている。

しかし、いまだに市内各所に旧型の蛍光灯型防犯灯が残っており、灯具の向きが不適切なものや、劣化により柱が傾いているものなどが問題となっている。

**市長** 防犯灯は地域の安全・安心のためであり、調査等の実施を含めて、更新、移設など早急に対応できるように検討したい。

今後の展開  
**質問** 三浦市では、毎年さまざまなイベントを開催し、多くの来場者を迎えている。



LED型の防犯灯



今年開催された「みうら夜市」



# 公共施設の管理

市営住宅のあり方、人口減少への対応

無所属 寺田 一樹

**質問** 本市の公共施設全体について、長期的な視点で更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行うため、公共施設等総合管理計画が策定された。また、三十二年度までには個別施設計画が策定される。

**策定されるのか。**

**総務部長** 現在、南浦市民センター用地での子育て賃貸住宅の整備とあわせて、市営住宅のあり方についても検討を進めている。

**市長** アンケートでは、三浦市に住み続けたいという人は五九・三%で、自然が豊かであることや災害が少ないといった理由が多かった。

**市長** アンケートでは、三浦市に住み続けたいという人は五九・三%で、自然が豊かであることや災害が少ないといった理由が多かった。

**市長** アンケートでは、三浦市に住み続けたいという人は五九・三%で、自然が豊かであることや災害が少ないといった理由が多かった。

**市長** アンケートでは、三浦市に住み続けたいという人は五九・三%で、自然が豊かであることや災害が少ないといった理由が多かった。

**市長** アンケートでは、三浦市に住み続けたいという人は五九・三%で、自然が豊かであることや災害が少ないといった理由が多かった。

**市長** アンケートでは、三浦市に住み続けたいという人は五九・三%で、自然が豊かであることや災害が少ないといった理由が多かった。



27年度末に廃止した青少年会館

四万四千人を切ってしまった。

過去に行ったアンケートでは、三浦市から転出したいと思う理由として、通勤通学に不便なことや市内での雇用が少ないことが多く挙げられた。住んでもらうには、それ以上のメリットを発信しなければならぬと思うが、行政の考えは。

# 海水浴場の活用

放課後児童クラブ、二学期に向けて

みうら市政会 出口 眞琴

**質問** 三浦市の海には、人を呼べる魅力満載のすばらしいアイテムがたくさんある。

**市長** 海水浴場は、夏場は活用できているが、もつと年間を通して活用すべきである。パドル

**市長** アンケートでは、三浦市に住み続けたいという人は五九・三%で、自然が豊かであることや災害が少ないといった理由が多かった。

# 駅弁をつくって観光振興を

年金に関する手続、障害者施設の整備

日本共産党 布川 照美

**質問** JR沿線の駅では、地域の顔とも言うべき駅弁が販売されている。三崎マグロを活用した駅弁をつくって、

**市長** 京浜急行電鉄には、まぐろきつぷを中

**市長** 京浜急行電鉄には、まぐろきつぷを中

ボードやシーカヤックといった新しいマリンスポーツの活用など、法的な規制から難しい案件もあると思うが、市の考えを伺いたい。

**市長** 海水浴場には、まだまだ活用の余地があると考えている。

**市長** 海水浴場には、まだまだ活用の余地があると考えている。

**市長** 海水浴場には、まだまだ活用の余地があると考えている。

**市長** 海水浴場には、まだまだ活用の余地があると考えている。

**市長** 海水浴場には、まだまだ活用の余地があると考えている。

**市長** 海水浴場には、まだまだ活用の余地があると考えている。

在となる家庭にとって、なくてはならない施設である。

**保健福祉部長** 一小学校に一施設の設置が最善の方法だと認識しており、小学校の余裕教室の状況も踏まえて、増設を進めていきたいと考えている。

**保健福祉部長** 一小学校に一施設の設置が最善の方法だと認識しており、小学校の余裕教室の状況も踏まえて、増設を進めていきたいと考えている。

**保健福祉部長** 一小学校に一施設の設置が最善の方法だと認識しており、小学校の余裕教室の状況も踏まえて、増設を進めていきたいと考えている。

**保健福祉部長** 一小学校に一施設の設置が最善の方法だと認識しており、小学校の余裕教室の状況も踏まえて、増設を進めていきたいと考えている。

**保健福祉部長** 一小学校に一施設の設置が最善の方法だと認識しており、小学校の余裕教室の状況も踏まえて、増設を進めていきたいと考えている。

**保健福祉部長** 一小学校に一施設の設置が最善の方法だと認識しており、小学校の余裕教室の状況も踏まえて、増設を進めていきたいと考えている。

**保健福祉部長** 一小学校に一施設の設置が最善の方法だと認識しており、小学校の余裕教室の状況も踏まえて、増設を進めていきたいと考えている。

**保健福祉部長** 一小学校に一施設の設置が最善の方法だと認識しており、小学校の余裕教室の状況も踏まえて、増設を進めていきたいと考えている。

**保健福祉部長** 一小学校に一施設の設置が最善の方法だと認識しており、小学校の余裕教室の状況も踏まえて、増設を進めていきたいと考えている。

を促進したい。

**質問** 夏休み明けに子供たちの心と体が不安定になり、不登校になったり命を絶つたりしてしまう子がふえていると報道等で取り上げられている。

**教育長** 三浦市では、特に二学期の始めに不登校がふえるというよ

**教育長** 三浦市では、特に二学期の始めに不登校がふえるというよ

**教育長** 三浦市では、特に二学期の始めに不登校がふえるというよ

**教育長** 三浦市では、特に二学期の始めに不登校がふえるというよ

**教育長** 三浦市では、特に二学期の始めに不登校がふえるというよ

**教育長** 三浦市では、特に二学期の始めに不登校がふえるというよ

**教育長** 三浦市では、特に二学期の始めに不登校がふえるというよ

**教育長** 三浦市では、特に二学期の始めに不登校がふえるというよ



にぎわう夏の海水浴場



期間限定の三崎マグロ駅



# 市民の安全対策の推進

みうら夜市、魅力ある学校づくり

みうら市政会 神田 真弓

**質問** 災害等に関する市民の安全対策を推進するためには、専門家の知識、経験も必要だと考える。

国は、防災、危機管理に関する専門性を有する人材を認定し、認定を受けた者を地方自治体が雇用した場合、その経費について特別交付税措置を講じる制度を創設した。三浦市でこの制度を活用する考えはあるか。

**市長** いわゆる災害対応のプロの雇用は、三浦市の防災力向上に資すると考えており、制度を活用した雇用の検討を始めている。

現在、平成三十年からの自衛官OBの雇用を目指して、自衛隊神奈川地方協力本部と協議を進めているところである。

**質問** おもてなしの工夫

八月十三日から二日間、みうら夜市が開催された。ことしは天候に恵まれなかったが、例年に近い人出だったと思う。

毎年必ず来てくださるリピーターの方もたくさんいるが、マンネリ化しないように工夫した点があれば、お聞きしたい。

**市長** 滞在時間の延長や消費額の向上、ホスピタリティの向上を図るため、手づくり灯笼の装飾と休憩スペースの設置をするエリアを拡大した。当日は多くの方が利用し、一店舗当たりの売り上げも増加したと聞いている。そのほかには、来場

者用トイレの拡充を行っている。

**質問** 重点的な取り組み

中学校卒業までの子育てを魅力あるものにするためには、学校が子供たちや保護者にとって魅力ある場所であることが大切だと考える。

学校を魅力ある場所にするために、重点的に取り組んでいることをお聞きたい。

**教育部長** 運動会や修学旅行などの学校行事を子供たちが楽しむために、教職員が日々試行錯誤し、子供の心に寄り添いながら毎日の取り組みを進めている。

# 公共施設の管理計画

住宅リフォーム助成、高齢者の安心

日本共産党 小林 直樹

**質問** 市の公共施設等総合管理計画では、人口減少に比例して公共施設の延べ床面積を縮減するとしているが、この方法は、余りにも乱暴なやり方である。延べ床面積を十二万平

米から七万平米にする目標であり、市民が利用する公共施設が廃止されることになる。

今後、個別施設の計画を策定するに当たっては、市民と協議を重ね、合意を得ることが必要だが、市はどのように考えているか。

**総務部長** 個別施設の計画策定に当たっては、日ごろから情報開示や説明を行っていききたいと考えている。

また、意見交換や意見をいただく機会を絶えず設け、計画に反映していききたい。

**質問** 制度の継続を

六月に住宅リフ

オーム助成制度の第一期募集が行われたが、五十三件の応募があり、第一期だけで今年度の募集件数を超えた。応募が多いのは、この制度に期待を寄せている証拠だと言えらる。

来年度も継続して本制度を実施すべきだが、市の考えは。

**市長** 七年目を迎えた本制度は、毎回多くの応募をいただいております。市民の関心度、期待度の高さを感している。昨年度までに助成した工事費の総額は約一億九千万円で、市内経済の活性化、住環境の向上に効果的な施策だと考えている。



個別施設計画策定は市民と協議を



横須賀市消防局の指導による訓練の様子

また、保護者が参加しやすいように行事日程を組むほか、学校へ行こう週間の実施、土

曜・日曜参観を多くするなど、子供たちの毎日の様子を見てもらえるよう取り組んでいる。

# ウッドデッキの活用

子育て賃貸住宅、道路整備

みうら市政会 草間 道治

**質問** 「うらり」に農畜産物直売所のうらりマルシェやささい館が開業し、外階段も整備されたことで、来遊客数が順調に増加している。

今後、さらなる観光消費額の増加を見込むためには、「うらり」二階にあるウッドデッキの利活用が非常に重要になると考えるが、今後の予定を伺いたい。

**水産担当部長** 現在、ウッドデッキは、来遊客が自由に使えるくつろぎスペースとなっており、外階段の整備後は、やささい館への動線として有効に機能している。

海業公社では、今年度実施する張りかえ工事の完成に合わせて、より積極的な利活用を検討しているということなので、適切に助言等をしていきたい。

**質問** 事業化に向けて

市は子育て賃貸住宅の事業化に向けた検討を進めており、市長は、この計画について「スピード感を持って取り組んでいきたい」と述べている。



「うらり」のウッドデッキ



新たに提出された陳情

- 「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情
趣旨 本陳情は、全国森林環境税導入の実現を求める意見書を国に提出するよう求めています。
地球で生き続ける為の地球社会建設希望決議を、今、して頂きたい陳情書
趣旨 本陳情は、地球社会建設希望決議の議決を求めています。
消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める陳情
趣旨 本陳情は、消費税一〇%への引き上げ撤回を求める意見書を国に提出することを求めています。
日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める陳情書
趣旨 本陳情は、核兵器禁止条約への調印を求める意見書を国に提出するよう求めています。
「薬害肝炎救済法の延長を求める意見書」の採択を求める陳情
趣旨 本陳情は、薬害肝炎被害者の全面救済のため、表題の意見書を関係機関に提出することを求めています。
平成三十年度における「重度障害者医療費助成制度継続」についての陳情
趣旨 本陳情は、障害児者・透析者が負担なく医療を受けられるよう、配慮した施策を行うことを求めています。
平成三十年度における「障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援」についての陳情
趣旨 本陳情は、移動困難者に対する通院支援を含む医療・福祉助成施策を行うよう求めています。
放課後児童クラブについての陳情書
趣旨 本陳情は、三浦市の放課後児童クラブに関し、①放課後児童支援員等処遇改善等事業の予算化、②市の補助金交付要綱の家賃等費用の補助限度額見直し、③保育料の減免措置について、行政の対応を求めています。
放課後児童クラブひまわりの施設移転についての陳情書
趣旨 本陳情は、表題の事項について、早急な対応を求めています。

常任委員会での陳情の審査結果

9月定例会では、新たに提出された陳情及び継続審査中の陳情、あわせて34件を審査しました。
今回、審査を終えた陳情は、次のとおりです。
そのほかの25件は、引き続き審査を行っていきます。

Table with 3 columns: 所管委員会, 件名, 結果. Rows include 総務経済 (核兵器禁止条約締結の国連本会議で日本政府が賛成するよう求める陳情書), 都市厚生 (平成30年度における「重度障害者医療費助成制度継続」についての陳情), etc.

可決した決議(概要)

北朝鮮の核実験に抗議する決議

去る9月3日、北朝鮮は核実験を実施したと発表した。世界の平和と安定を求める国際的な世論に反して核実験を強行したことは、断じて許すことはできない。本市は、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮を願い、「核兵器廃絶平和都市」であることを宣言している。よって、本市議会は、北朝鮮の核実験に対し強く抗議の意を表すとともに、日本政府が国際社会と協調し、北朝鮮に対して全ての核兵器及び核計画の放棄を求めるための措置をとることを強く求める。(提出先) 内閣総理大臣/外務大臣



- 星野拓吉氏
固定資産評価員
大井清氏
公平委員会委員
廣瀬牧実氏
教育委員会委員

人事

市長から、次の方々に任命・選任するための議案が提出され、いずれも原案のとおり同意することに決しました。

本会議における討論

議案第52号 平成28年度三浦市一般会計決算の認定について

賛成討論 公明党 藤田昇
大変厳しい財政状況の中、歳入増加策としては、昨年同様に市税等の徴収強化に取り組み、歳出削減策としては、ごみダイエット大作戦に取り組み、それぞれ効果が出ている。
また、二十八年度には、子育て世帯への相談支援や、放課後児童クラブの施設改修への補助を行ったほか、小児医療費助成事業の対象年齢を引き上げるなど、子育て支援に全力で取り組んできたことは、一定の評価ができる。
二町谷埋立地への企業誘致、三崎高校跡地や旧三崎中学校跡地の利活用、観光振興の促進、そして人口減少問題など、さまざまな課題が山積しているが、三浦市総合計画「三浦みらい創生プラン」をもとに、三浦市の創生を目指して官民協働で市内経済の活性化を図り、市民生活の向上が図られる市政運営を期待する。
賛成討論 自由民主党 出口正雄
長引く景気低迷や人口減少が進み、緊急縮減財政宣言の継続がなされる厳しい財政状況の中、財源対策検討委員会による見直しを行い、職員一人一人が財源不足の解消に向けて積極的に取り組んだことは評価される。
歳入については、徴収業務や滞納処分等の強化により、ここ数年、収入率は上がっており、大変評価するところである。
歳出においては、小児医療費助成事業の対象年齢引き上げや妊婦健康診査事業等の子育て施策、うらりマルシェ開設による地域の活性化等を行っている。
決算審査特別委員会の議論及び審査内容を精査して、よりよい市民生活になるよう、また、次の世代を担う子供たちの夢や未来をサポートできるように、市長を初めとする行政には固い決意を持って一層努力されることを切に望む。

# 議会を傍聴しませんか

平成29年第4回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月 日	曜日	会 議 名 等
11月28日	火	招集告示
30日	木	議会運営委員会（日程・審議方法等決定）
12月5日	火	本会議（一般質問）
6日	水	本会議（一般質問）
7日	木	本会議（一般質問）
8日	金	総務経済常任委員会
11日	月	都市厚生常任委員会
15日	金	本会議（委員長報告・採決）

※請願・陳情の提出期限は11月29日（水）です。

- ◆三浦市議会の本会議及び委員会は公開されていますので、自由に傍聴することができます。  
傍聴を希望する方は、市役所本館4階の受付で、傍聴人受付簿に住所、氏名、年齢を記入してください。
- ◆お問い合わせは議会事務局へ  
電話 046-882-1111 内線462・463

## 議会報告会

十月十四日、十五日に議会報告会を市内三会場で開催しました。

今年度は、子育てや観光にかかわる方、青少年を対象とし、共通テーマと会場ごとのテーマを決めて実施しました。

各地区の会場、開催日時、会場別テーマ、参加対象者、参加人数は次のとおりです。

- ◆共通テーマ  
平成二十八年度決算について
- 初声地区（潮風アリーナ 研修室）  
・十月十四日（土）午後二時  
・「子育て」について  
・国際ソロプチミスト三浦、新日本婦人の会三浦支部、はっぴー子育て応援団、子育てサークル 二十人



打ち合わせの様子



リハーサル

- 三崎地区（三浦市役所 議場）  
・十月十五日（日）午後二時  
・「夢をかたる」について  
・市内中高生及び青少年 二十三人
- 南下浦地区（南下浦市民センター 講堂）  
・十月十五日（日）午後七時  
・「観光振興」について  
・三浦市観光協会、みうら観光ボランティアガイド協会 二十五人  
各会場で出された質疑・意見等は、次号の三浦市議会だより及び三浦市議会ホームページに掲載します。

## 本会議での議案等の審議結果

### 〈全員賛成で議決した議案〉

#### 【議案】

- 第47号 平成28年度三浦市病院事業会計決算の認定について
- 第48号 平成28年度三浦市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 第51号 三浦市空家等対策協議会条例
- 第55号 平成28年度三浦市介護保険事業特別会計決算の認定について
- 第56号 平成28年度三浦市市場事業特別会計決算の認定について
- 第62号 平成29年度三浦市一般会計補正予算（第3号）

- 第63号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 第64号 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 第65号 固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて

#### 【決議案】

- 第1号 北朝鮮の核実験に抗議する決議

### 〈賛否が分かれた議案〉 ○賛成 ●反対

番号	件名	審議結果	みうら市政会					日本共産党			公明党	自由民主党	無所属		
			岩野 匡史	長島満理子	神田 眞弓	出口 眞琴	草間 道治	布川 照美	石橋むつみ	小林 直樹	藤田 昇	出口 正雄	下田 剛	木村 謙蔵	寺田 一樹
【議案】第52号	平成28年度三浦市一般会計決算の認定について	原案認定		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第53号	平成28年度三浦市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	〃		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第54号	平成28年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	〃		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第57号	平成28年度三浦市公共下水道事業特別会計決算の認定について	〃		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第58号	平成28年度三浦市第三セクター等改革推進債償還事業特別会計決算の認定について	〃	※1	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第59号	平成29年度三浦市一般会計補正予算（第2号）	原案可決		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第60号	平成29年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	〃		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第61号	平成29年度三浦市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	〃		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○

※1 議長は表決に加わらない



布川照美

三浦の土日や連休ともなると、観光客が随分増えました。イベント等に求められる訳ではなく、下町を散策なされる方を多く見かけます。

小さい地域ですので、ギッシリという感じ。お目当ての場所や品物があればリピーターになって、また来てみたいと思ってくださるのですね。

私は小学校一年生の時に、地方から家族と一緒に魚市場の近くに住居を移しました。朝四時頃から威勢の良いアナウンスがあり、非常に活気に溢れていました。

また、下町には映画館が三軒もあり、小遣いを握りしめ、時代劇から洋画等、幅広く堪能いたしました。

全盛期の三崎を知っているだけに、下町に人がギッシリの光景は感無量、いや「感慨無量」の境地です。

観光に力を入れ、もともと皆様に愛される三崎・楽しめる三崎・自然が一杯の三崎・また行きたい三崎と言われる町になる様、皆さん頑張ってください。

### 編集委員コラム

三浦の土日や連休ともなると、観光客が随分増えました。イベント等に求められる訳ではなく、下町を散策なされる方を多く見かけます。

小さい地域ですので、ギッシリという感じ。お目当ての場所や品物があればリピーターになって、また来てみたいと思ってくださるのですね。

私は小学校一年生の時に、地方から家族と一緒に魚市場の近くに住居を移しました。朝四時頃から威勢の良いアナウンスがあり、非常に活気に溢れていました。

また、下町には映画館が三軒もあり、小遣いを握りしめ、時代劇から洋画等、幅広く堪能いたしました。

全盛期の三崎を知っているだけに、下町に人がギッシリの光景は感無量、いや「感慨無量」の境地です。

観光に力を入れ、もともと皆様に愛される三崎・楽しめる三崎・自然が一杯の三崎・また行きたい三崎と言われる町になる様、皆さん頑張ってください。